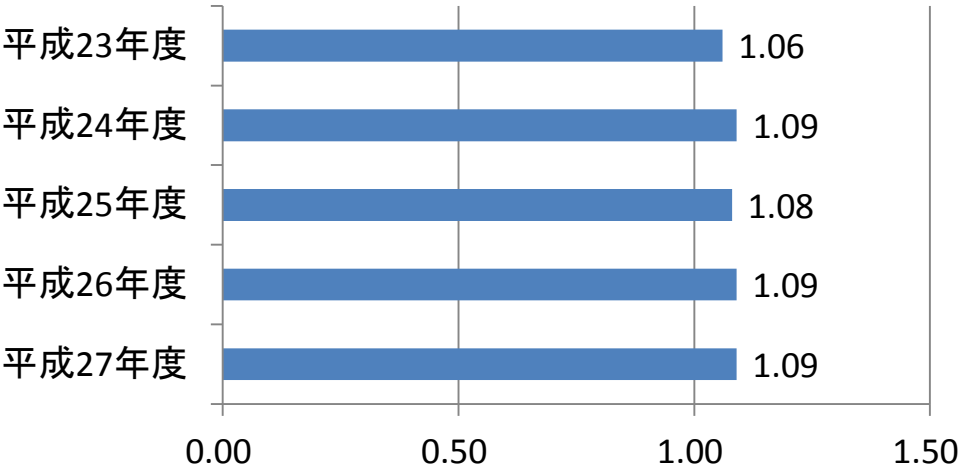


6 患者構成の指標

解説	在院日数の長い複雑な疾患の患者をどの程度診療しているのかを表現した指標です。全国のDPC対象病院の疾患毎の平均在院日数を用い、各国立大学附属病院の患者構成の違いを相対的に表します。数値は1が全国平均であり、1より大きい場合、在院日数を長く必要とする複雑な疾患を診療している病院といえます。つまり、高度な医療を提供する国立大学附属病院として、治療の内容が複雑な患者をより多く診療していることを示す指標です。												
実績	 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>指標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成23年度</td><td>1.06</td></tr><tr><td>平成24年度</td><td>1.09</td></tr><tr><td>平成25年度</td><td>1.08</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>1.09</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>1.09</td></tr></tbody></table>	年度	指標値	平成23年度	1.06	平成24年度	1.09	平成25年度	1.08	平成26年度	1.09	平成27年度	1.09
年度	指標値												
平成23年度	1.06												
平成24年度	1.09												
平成25年度	1.08												
平成26年度	1.09												
平成27年度	1.09												
定義	厚生労働省のDPC 評価分科会の公開データです。												